

昭和 6 3 年 9 月招集

第 3 回館山市議会定例会会議録

館山市議会

目 次

○第1号（9月8日）

開 会	8
議長の報告	9
議案の配付	9
会議録署名議員の指名	9
会期の決定	9
会議日程の決定	9
議案第38号～議案第41号、認定第1号～認定第7号 （提案理由の説明）	10
延 会	14
本日の会議に付した事件	15

○第2号（9月12日）

開 議	20
行政一般通告質問	20
脇田 安保君の質問、当局の応答	20
田沢 勝信君の質問、当局の応答	31
辻田 実君の質問、当局の応答	47
神田 守隆君の質問、当局の応答	68
散 会	86
本日の会議に付した事件	86

○第3号（9月16日）

開 議	90
議案第38号、議案第39号	90
神田 守隆君の質疑、当局の応答	90
辻田 実君の質疑、当局の応答	98
委員会付託	112
議案第40号、議案第41号	112

神田 守隆君の質疑、当局の応答	1 1 2
辻田 実君の質疑、当局の応答	1 1 9
委員会付託	1 2 8
請願第 1 3 号	1 2 9
委員会付託	1 2 9
議長の報告	1 2 9
延 会	1 2 9
本日の会議に付した事件	1 2 9

○第 4 号 (9 月 1 9 日)

開 議	1 3 4
認定第 1 号～認定第 7 号	1 3 4
神田 守隆君の質疑、当局の応答	1 3 5
辻田 実君の質疑、当局の応答	1 4 7
決算審査特別委員会の設置・付託・委員の選任	1 6 4
延 会	1 6 5
本日の会議に付した事件	1 6 5

○第 5 号 (9 月 2 7 日)

開 議	1 7 1
議案の配付	1 7 1
議案第 4 0 号	1 7 1
総務委員会委員長報告	1 7 1
採決	1 7 3
議案第 3 8 号、議案第 3 9 号、議案第 4 1 号	1 7 3
建設経済委員会委員長報告	1 7 3
神田 守隆君の討論	1 7 5
採決	1 7 6
請願第 3 号、請願第 1 3 号	1 7 7
総務委員会委員長報告	1 7 7
神田 守隆君の討論	1 7 8

採決	1 8 0
議長の報告	1 8 1
認定第 1 号～認定第 7 号	1 8 1
決算審査特別委員会委員長報告	1 8 1
採決	1 8 7
議案第 4 2 号	1 8 7
説明	1 8 7
委員会付託の省略	1 8 8
採決	1 8 8
日程の追加・発議案第 4 号	1 8 9
説明	1 8 9
委員会付託の省略	1 9 0
採決	1 9 0
閉 会	1 9 1
本日の会議に付した事件	1 9 1

● 第 3 回 館山市議会定例会会議録
(第 1 号)

1 昭和63年9月8日(木曜日)午前10時

1 館山市役所議場

1 出席議員 27名

1 番 脇田 安保
3 番 田沢 勝信
5 番 岩村 勝弘
7 番 生稻 隆
9 番 山口 康雄
11 番 神田 守隆
13 番 山中金治郎
15 番 横溝 功
17 番 石井 謀
19 番 川名 正二
21 番 辻田 実
23 番 流山源次郎
26 番 近藤 好雄
28 番 飯田 義男

2 番 永井 龍平
4 番 庄司二三男
6 番 山崎 雅己
8 番 鈴木 勝美
10 番 鈴木 忠夫
12 番 榎本 春光
14 番 小宮 利夫
16 番 石井 昌治
18 番 日下 君敏
20 番 福原 勤
22 番 黒川 平治
25 番 渡辺 昭夫
27 番 林 豊

1 欠席議員 なし

1 出席説明員

市長 半澤 良一
収入役 渡辺 弘
総務部長 渡辺 秀夫
経済部長 安西 良一
教育委員会会長 山田 教和
選挙管理委員会会長 加藤 利
監査委員 鈴木 重司
農業委員会会長 斎藤 明

1 出席事務局職員

事務局長 川上 義雄
書記 鈴木 哲
書記 加藤 浩一

助役 小倉 澄男
市長公室長 錦織 茂
民生部長 小幡 清之
水道課長 鈴木 信一
教育委員会会長 福原 修
教育委員会書記長 佐藤 澄雄
監査事務局長 熊坂 桂一
農業委員会会長 池田 六郎

事務局長補佐 兵藤 恭一
書記 鈴木 修一

1 議事日程（第1号）

昭和63年9月8日午前10時開議

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 会議日程の決定

- 日程第4 {
- 議案第38号 館山市市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
 - 議案第39号 館山都市計画事業館山駅西口地区土地区画整理事業施行条例の制定について
 - 議案第40号 昭和63年度館山市一般会計補正予算（第2号）
 - 議案第41号 昭和63年度館山市水道事業特別会計補正予算（第1号）
 - 認定第1号 昭和62年度館山市一般会計歳入歳出決算の認定について
 - 認定第2号 昭和62年度館山市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
 - 認定第3号 昭和62年度館山市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について
 - 認定第4号 昭和62年度館山市ユースホステル特別会計歳入歳出決算の認定について
 - 認定第5号 昭和62年度館山市学童災害共済事業特別会計歳入歳出決算の認定について
 - 認定第6号 昭和62年度館山市水道事業特別会計収支決算の認定について
 - 認定第7号 昭和62年度館山市国民宿舎事業特別会計収支決算の認定について

開 会 午前10時05分

○議長（飯田義男君） 本日の出席議員数27名、これより昭和63年第3回市議会定例会を開会し、直ちに本日の会議を開きます。

議長の報告

○議長（飯田義男君） 本定例会議案審議のため、地方自治法第121条の規定による出席要求に対し、お手元に配付のとおり出席報告がありましたので、御了承願います。

なお、監査委員から6月乃至8月実施の監査結果が報告されております。お手元に配付の印刷書により御了承願います。

議案の配付

○議長（飯田義男君） ただいま市長から議案並びに説明書の送付がありました。

議案並びに説明書を配付いたさせます。

配付漏れはありませんか。——配付漏れなしと認めます。

本日の議事はお手元に配付の日程表により行います。

会議録署名議員の指名

○議長（飯田義男君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

9番議員山口康雄君、18番議員日下君敏君、以上両君を指名いたします。

会期の決定

○議長（飯田義男君） 日程第2、会期の決定を行います。

本定例会の会期につき議会運営協議会の意見は本9月8日から9月27日までの20日間ということであります。

お諮りいたします。会期を20日間と定めますことに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（飯田義男君） 御異議なしと認めます。よって、会期は9月8日から9月27日までの20日間と決定いたしました。

会議日程の決定

○議長（飯田義男君） 日程第3、会議日程の決定を行います。

お諮りいたします。お手元に配付の会議日程表は、本定例会の大体の日取り予定であります。議会運営協議会の意見により作成いたしました。本定例会をおおむねこの会議日程表により運びますとともに、その間議案の追加または議事の都合等によりましてその都度これを改めることにして大体このようにいたしたいと思ひます。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（飯田義男君） 御異議なしと認めます。よって会議日程は決定いたしました。

議案の上程

○議長（飯田義男君） 日程第4、議案第38号乃至議案第41号並びに認定第1号乃至認定第7号を一括して議題といたします。

提案理由の説明

○議長（飯田義男君） これより各議案に対する提案理由の説明を求めます。

（市長半澤良一君登壇）

○市長（半澤良一君） 本日、ここに第3回市議会定例会を招集いたし、当面する諸案件について御審議をお願いすることといたしましたが、議員の皆さま方には、御多忙のところ御出席をいただきありがとうございます。

今回、提案いたします案件は、条例議案2件、補正予算2件並びに認定7件でございます。

以下、その概要について御説明申し上げます。

まず、議案第38号館山市市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、土地区画整理事業の施行に伴う北条市営住宅の除却及び真倉市営住宅を新たに建設したことによる市営住宅の位置等の変更並びに条文の整備をお願いしようとするものでございます。

次に、議案第 39 号 館山都市計画事業 館山駅西口地区土地地区画整理事業施行条例の制定についてでございますが、御案内のように、館山駅西口地区土地地区画整理事業につきましては、本年度内に事業認可を得るべく、現在、関係機関との協議及び事業計画の作成作業を進めているところでございます。このたび、当該事業を施行しようとするにあたり、土地地区画整理法の規定に基づき、事業の名称、施行地区に含まれる地域の名称、事業の範囲、事務所の所在地、費用の負担、土地地区画整理審議会、地積の決定の方法、評価員、清算等の規定を内容とする条例を制定しようとするものでございます。

次に、議案第 40 号 昭和 63 年度 館山市一般会計補正予算（第 2 号）でございますが、歳入歳出予算の補正といたしまして、歳入歳出それぞれ 3 億 4 184 万 7 000 円を追加し、総額 105 億 7 030 万 7 000 円としようとするものでございます。

歳出の主な内容といたしましては、総務費では、退職者の増による千葉県市町村総合事務組合負担金で 2152 万 4 000 円、農林水産業費では、ビワのハウス施設建設 2 カ所に対し果樹生産安定施設整備事業補助金で 753 万 8 000 円、正木外 2 地区の農道整備事業委託料で 152 万 9 000 円、農道舗装に伴う路床土支持力比試験委託料で 55 万円、沼地区のは場整備事業に伴う換地設計事業委託料で 70 万 1 000 円、畜養施設建設に対する流通等改善施設整備事業補助金で 210 万 8 000 円、漁船保全修理建設に対する漁船漁業近代化施設整備事業補助金で 127 万 5 000 円、情報連絡施設の設置に対する漁村環境等施設整備事業補助金で 275 万 5 000 円、土木費では、市道 1001 号線、市道 1031 号線の測量と設計委託料の増及び市道 1199 号線予備設計委託の追加による路線測量委託料で 850 万円、河川護岸工事請負費で 1160 万 8 000 円、これは蟹田川改修工事の増及び探査工事の追加によるものでございます。また、都市計画事業の計画決定に伴う修正後の都市計画図等印刷費で 80 万円、用地境界壁設置に係る負担金で 80 万円、八幡都市下水路調査及び基本実施設計委託料で 417 万円、教育費では、館山小学校事務員欠員による補充としての臨時職員賃金で 98 万 6 000 円、市内山本の小澤勝洋氏よりの寄附金による館野小学校の

備品購入費で100万円、第三中学校事務員欠員による補充としての臨時職員賃金で61万2000円、公債費では、地方債の繰上償還元金で2億7256万3000円、以上、歳出の主なものにつきまして御説明申し上げましたが、これらの財源といたしまして、国・県支出金等の特定財源2142万7000円、地方交付税及び前年度繰越金等の一般財源3億2042万円をもって充当しようとするものでございます。

なお、このほかに、債務負担行為の補正といたしまして、農道整備資金の償還に対する補助限度額を4115万6000円に引き上げようとするものでございます。また、地方債の補正といたしまして、市道1015号線改良に対する国庫補助金3150万円につきまして道路整備事業債に変更しようとするものでございます。これは、国による無利子貸付金で償還時には償還金相当額が補助金として交付され、実質的には補助金と同様のものでございます。

次に、議案第41号昭和63年度館山市水道事業特別会計補正予算（第1号）でありますが、資本的支出におきまして、作名ダムの緊急水源を確保するため、館山市南条区が管理する女堰からの揚水施設等の改良及び導水管布設工事を施行しようとするもので、工事請負費1億3350万円の増額をお願いするものでございます。

次に、認定第1号乃至認定第7号の諸案件は、いずれも昭和62年度館山市一般会計外6特別会計の歳入歳出決算の認定につきまして、地方自治法等の規定に基づき、監査委員の意見を付して、市議会の認定をお願いするものでございます。

昭和62年度の我が国経済は、これまでの円高の進展等により外需が減少するものの、個人消費が堅調に推移し、民間投資、公共投資とも増加するなど、内需は引き続き増加しており、回復から拡大局面へと移行してまいりました。経常収支におきましては、依然として水準は高いものの、輸入が製品類を中心に増加していること等から黒字幅が縮小しており、このような状況の中で政府は、主要国との政策協調を推進しつつ、内需を中心とした景気の積極的な拡大を図るとともに、対外不均衡の是正、調和ある対外経済関係の形成に努めるため、6兆円を上回る財政措置を伴う緊急経済対策の実施を図る等、円レートの動向をも注視しつつ、

機動的かつきめ細かな経済運営が実施されたところでございます。

一方、地方財政におきましては、累積した巨額の借入金を抱え、さらに国庫補助負担率の引き下げなど財源の確保が難しい状況にある中で、国の経済政策等の動向を踏まえ、内政の直接の担い手として、地域経済の安定的な発展につながる事業の実施、とりわけ地方単独事業費の拡大などが要請されました。このため、引き続き行政の刷新、行財政の簡素、効率化を推進するとともに、税収入の確保、受益者負担の適正化等に努め、節度ある財政運営を行うこととされました。

本市におきましては、このような国及び地方を取り巻く厳しい財政状況の中で、既存の事務事業の見直し等、行財政改革を進めるとともに、税収入の確保、地方債の繰上償還等、健全財政を基本に堅実な行財政運営に努めてきたところでございます。具体的な予算の執行にあたりましては、市の基本構想で定めた将来都市像「活力ある文化福祉都市」の実現に向け、施策の緊急性、優先度の検討、真に必要な施策の選択など、財政の質的充実に配意しつつ、地域の振興、福祉及び教育文化の向上、生活関連施設の整備充実に計画的に推進し、市民生活の安定向上に努めてまいりました。この結果、一般会計におきましては、歳入総額 106 億 3485 万余円に対前年度比 4 億 4609 万余円の増、歳出総額 101 億 5571 万余円で、対前年度比 3 億 9858 万余円の増となり、河川護岸工事、北条海岸排水路改修工事請負費及び都市計画街路整備事業に係る繰越額 2849 万余円を除く実質収支は 4 億 5063 万余円となっております。

また、特別会計におきましては、運営の合理化、適正化を図りながら独立採算性の確保に努めました。

国民健康保険会計及び老人保健会計におきましては、医療費は増加傾向にあったものの前年度の伸びを大きく下回るものとなりました。なお、実質収支につきましては、国民健康保険会計 1 億 8388 万余円、老人保健会計 969 万余円となっております。

水道事業会計におきましては、渇水時における安定給水を確保するため、三芳水道企業団との間に緊急連絡管布設工事を施行したほか、神余浄水場ろ過池等改良工事の施工、浄水場集中監視装置の導入等、既存施

設の整備拡充に努めました。収益的収支につきましては、4,276万余円の純利益を生じ、前年度繰越利益剰余金1,001万余円と合わせて剰余金5,277万余円を翌年度へ繰り越すことといたしました。資本的収支につきましては、1億680万余円の不足が生じ、減債積立金と過年度分損益勘定留保資金で補てんすることといたしました。

国民宿舎事業会計におきましては、経営の安定を図るため利用者増大に向け、一層の諸サービスの充実と前年度に引き続いて新しい客層の開拓に努めるとともに、一般会計からの借入金を財源といたしまして企業債未償還金のうち1億円の一部繰上償還を実施いたしました。なお、本年度宿泊利用者数は、前年度に比べ6.6%の減、収益的収支につきましては963万余円の純損失となっております。

以上、昭和62年度の決算について、その概要を申し上げましたが、個々の施策につきましては、「決算に係る主要な施策の成果に関する報告」及び「歳入歳出決算事項別明細書」等により御了承賜りたいと存じます。

以上、各議案に対する提案理由について御説明申し上げましたが、この会期中追加議案といたしまして、館山市教育委員会委員の任命について議会の同意を得たく、上程をお願いする予定でございます。

よろしく御審議のほどお願いいたします。

○議長（飯田義男君） 以上で、市長の提案理由の説明を終わります。

延 会 午前10時22分

○議長（飯田義男君） お諮りいたします。

本日の会議はこれにて延会いたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（飯田義男君） 御異議なしと認めます。よって、本日はこれにて延会することに決しました。

なお、明9月9日から11日まで議案調査のため休会、次会は9月12日午前10時開会とし、その議事は通告による行政一般質問を行います。

◎本日の会議に付した事件

- 1 会議録署名議員の指名
- 1 会期の決定
- 1 会議日程の決定
- 1 議案第 3 8 号乃至議案第 4 1 号
- 1 認定第 1 号乃至認定第 7 号

